



診療科紹介

耳鼻咽喉科

特集

バースセンター同窓会報告

特集

大規模災害多数傷病者受入訓練を実施しました

マイタウン・マイホスピタル  
ミニニュース

お知らせ

傷病者受入訓練を  
実施しました



# 地域医療と連携し良質な医療を提供します

耳鼻咽喉科副部長 酒井 瑞乃



左 酒井瑞乃先生 右 田中秀子看護師

皆さまこんにちは。今年4月から耳鼻咽喉科常勤医として赴任しております酒井瑞乃と申します。

耳鼻咽喉科で扱う器官は、「聴く」「話す」「呼吸する」「食べる」といった人間の基本的営みを行う器官でもあり、人間の五感のいずれにも関係し、日常生活に深くかかわってきます。

**当科を受診される患者さんで多い疾患**

耳…難聴、めまい、耳鳴り

鼻…アレルギー性鼻炎、急性・慢性副鼻腔炎、鼻出血

のど…感冒、急性扁桃炎、扁桃周囲膿瘍、咽喉頭異常感症

くび…リンパ節腫脹、甲状腺腫瘍、頸部腫瘍

などです。  
今回は最近特に多いと感じる咽喉頭異常感症についてご紹介したいと思います。

## 咽喉頭異常感症

喉に異常な感じがあつて原因が不明のものを真性、原因を特定することが出来るものを症候性といひ、原因が特定できるものの中では逆流性食道炎が多く、胃酸逆流によって咽頭粘膜に炎症が起き、

その結果、喉の違和感が生じます。

真性というのは、ファイバースコープで鼻、咽頭、喉頭を診察しても異常がなく原因が特定できないものですが、不安・緊張感・疲弊などのストレスが原因と考えられています。

漢方の世界ではこの疾患を「梅核気」と呼び、梅の種が喉にあるような感じがして、飲み込むことも、出すこともできない状態といわれます。心理的に大きなストレスをかかえた状態であると喉の違和感が悪化します。仕事関係のストレスはもちろんですが、親の介護や孫の世話など、自分の言いたいことをグツと飲み込んで頑張つて生活している方に多い症状と考えられます。

特效薬はないですが、ストレス発散方法をみつける（運動が効果的です）、何かに集中している時は気にならないという傾向があるので、趣味に没頭することも症状緩和の方法です。

一度、喉を診察し異常がないことが分かるだけでも安心されて症状が軽くなることもありますので、症状にお悩みの方はどうぞ受

診ください。

## 中核病院として

当科は地域の中核病院として、入院治療が必要な急性期疾患や手術の診療に当たっています。常勤医1人体制のため、当院で対応が困難な場合は済生会宇都宮病院、栃木医療センターと連携をとりご紹介しております。

これからも精一杯診療に当たらせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



診察中の酒井先生

# 第5回バースセンター同窓会が開催されました

4階西病棟 看護係長 吉成 律子

## バースセンター開設8年目

新病院移転とともにバースセンターが開設されて今年で8年目になり、地域の皆様にバースセンターでの分娩が知られるようになってきました。現在は、「バースセンター専任助産師」6名が一つのチームとなり、妊娠中から医師と協働して妊婦健診を行い、バースセンターでの分娩をバックアップするという体制を整えており、健診中からの顔なじみの助産師がいて、心安らぐ家庭的な環境で自宅のようにくつろげる場所であり続けるよう努めております。

## 総勢約150名の参加

当院バースセンターでのお産を選んでくださった方々との同窓会も、今回で5回目となりました。今回は、令和元年6月30日(日)(於マイタウンホール)に、恵みの雨の中、平成30年度に出産された48組の家族、総勢150名の参加者をお迎えしての開催となりました。「こんなに大きくなったんですよ！」などあちこちでうれしい報告が聞かれるなど、お産に関わった助産師達との再会は特に感動的な様子でした。

## 親子ふれあい遊びやスライドショー

今年度の同窓会は、「当院の保育士による親子ふれあい遊び」・「大田原市吹奏楽団による楽しい演奏会」・「助産師のヨガインストラクターによる呼吸法を交えたストレッチ」・「ラジオ体操」・「お面作り」・「お産の思



48組の家族、総勢150名の参加者で記念撮影。



親子でお面作りを行いました。

い出いっぱいのスライドショー上映(バースセンタースタッフ作成)といったプログラムで、終始笑顔で楽しいひとときを過ごして頂きました。最後のスライドショーには「生まれた日のことを思い出すことができ、また育児をがんばろうと思うことができました」という感想をいただき、毎日育児に奮闘するお母さんと家族の応援ができたことに、ス



保育士と一緒に手遊び



大田原市吹奏楽団による楽しい演奏会

タッフもうれしく感じていました。優しいまなざし  
お産や育児を取り巻く環境が、どんな風になっても、生まれてくる我が子に向けられる優しいまなざしは、ずっと変わらないと私たちは信じています。  
みなさん、是非バースセンターで私たちと共に、お産をしませんか。

# 大規模災害多数傷病者受入訓練を 実施しました 9月8日(日)

防災委員会

9月8日(日)、平日の9時頃に大田原市内を震源とする震度5強の地震が発生、多数の傷病者が発生した事を想定した大規模災害訓練を実施しました。今回の訓練は病院関係者、県北健康福祉センター、那須地区消防本部、総勢200名が参加し、**災害拠点病院(※1)**に指定されている当院の機能強化と実施体制の確認・検証を行いました。

訓練は近隣地区で、震度6強の地震による土砂崩れを想定し、院内災害本部を設置後、外来一時中断、傷病者の受入及び救護活動を実施、重症度・緊急性を判定し、各エリアに搬送して**トリアージ(※2)**、処置、検査などが行われました。

他にも院内災害対策本部では、空床状況、職員の配置状況、傷病者受入人数等の本部に集まる様々な情報を一元化する訓練が行われました。

訓練を通して院内体制や各関係機関との連携等、数々の課題が浮かび上がりました。今後も当院では対応策を検討し、災害拠点病院としての更なる機能強化を図ります。



現地指揮所では入院患者数の報告が集約されます。



トリアージエリアではトリアージタグを使用して傷病者の区別をしています。



院内災害対策本部



病院エントランスに設置された救護所の様子。



患者家族・ボランティア・報道機関対応の訓練も行いました。



簡易ベットをエントランスホールに設置し治療も行いました。

## 災害拠点病院(※1)

地震・津波・台風等の災害発生時に災害医療を行う病院などの後方医療機関を支援する機能を有する病院。

## トリアージ(※2)

災害医療現場において、医療体制や現場設備を考慮しつつ、傷病者を緊急性・重症度に応じて分類し治療の優先順位を決定すること。

## 7月 那須赤十字病院託児所「ポケット」

### 祖父母の会/7月6日(土)

院内託児所で、祖父母を招待し「七夕まつり」が開催され、約20名の祖父母が集まりました。園児達は祖父母達と協力し短冊の作成、飾付けと和やかな雰囲気が進められ楽しいひとときを過ごすことができました。参加して下さった皆様、ありがとうございます。



短冊に願いを込めて飾付けもおこないました。

## ウオッシュクロス贈呈式

### 大田原女子高校/7月19日(金)

毎年大女高の福祉委員の生徒を中心に、全校生徒に呼びかけ、不要になったタオルなどを集め、※①ウオッシュクロスに仕立て、寄付していただいております。これは大女高に衛生看護科があった時代から続いており、医療現場でウオッシュクロスは大変助かります。ありがとうございました。



山本看護副部長が贈呈式へ参加しました。

## 救護活動を実施しました。

### 男体山の登拝祭にて/7月31日(水)

7月31日深夜から2日間に渡り、日光市にある男体山の登拝祭が行われ、当院も救護活動を実施しました。

今回の活動は頂上になり、医師・看護師・事務員の他、日赤栃木県支部・整骨災害救護奉仕団の方も参加し、無事に終了しました。



救護活動前に安全祈願もおこないました。

## 8月 与一まつり

### 115人が流し踊りに参加/8月2日(金)

地元大田原の夏を彩るイベント「与一まつり」の流し踊りに医師、看護師をはじめ、総勢115人が参加しました。

おそろいの法被を着て、踊りの練習もし、当日に臨みました。残念ながら入賞することはできませんでしたが、参加者の熱い熱気は伝わったと思います。来年の与一まつりも楽しみです。



流し踊りの参加。一生懸命踊りました。

## 講演会のお知らせ

### 第19回メディカル講座 テーマ～物忘れ症状とともに暮らす～

日時：令和元年11月16日(土)10:30～12:00 会場：那須赤十字病院 2階 マイタウンホール  
定員：150名(申込み先着順)

講演1. 認知症の人の考え方を知ろう ～正しい接しかたを知り、愛情を持った声かけを～

那須赤十字病院 脳神経内科部長 伊藤 雅史

講演2. 認知症の予防

那須赤十字病院 認知症看護認定看護師 黒崎 頼子

その他：駐車券を会場までお持ち下さい。

申込及び問合せ先：那須赤十字病院 総務課 0287-23-1122(代表)

## 病院ホームページ バナー広告募集

病院ホームページのトップページに広告を掲載しています。

### ■掲載位置

- A:全ページ左側の病院が指定する場所。
- B:全ページ下部の病院が指定する場所。

### ■掲載寸法

A 枠:縦70ピクセル×横220ピクセル  
サイズ 30KB以内

形式 gif, jpg, png形式

B 枠:縦70ピクセル×横230ピクセル  
サイズ 30KB以内

形式 gif, jpg, png形式

### ■掲載期間

一ヶ月を単位とし、最長1年

### ■募集枠

A 枠:3

B 枠:4

### ■掲載料金

A:15,000円/枠/月

B:10,000円/枠/月

### ■申込み・問合せ

総務課広報係 ☎0287-23-1122(代表)

E-mail: nrchp@nasu.jrc.or.jp

ホームページアドレス: <http://www.nasu.jrc.or.jp/>



## がんのつどい

10月5日(土)	「医師との上手なコミュニケーション」医師 マイタウンホール2/3
11月2日(土)	「がんと生活習慣」がん看護専門看護師 会議室1・2
12月7日(土)	「薬について」薬剤師 会議室1・2
1月4日(土)	フリートーク 会議室1・2

## 今月の表紙



毎年9月は「防災の日」及び「防災週間」になり全国各地で防災訓練や防災知識を普及・啓発するための行事等が行われています。当院も9月に大規模訓練を実施しました。重症エリアで医師が患者を診察しています。災害拠点病院の任務遂行の為、全職員が真剣に訓練に参加しました。

## 編集後記

各地で自然災害が発生しています。  
普段からの備えが大切です。  
地域の情報を確認しておきましょう。(看護師 A・F)

## 献血に行こう！

**「血液を確実におとどけするために」**  
～あなたの善意が患者さんの尊い命を救います～

日時: 令和元年 12月 27日(金) 10:00～16:00  
(12時前後から1時間程度休憩をとらせていただきます)

場所: 那須赤十字病院 時間外入口付近(献血バス)

問い合わせ:

那須赤十字病院 社会課 TEL:0287-23-1122(代表)  
400mlの献血のご協力をお願いします。

## マイタウンまつり2019

**「つなげよう!! 医療・福祉・地域の絆」**

那須赤十字病院は「マイタウン・マイホスピタル～地域に根ざし、ともに歩み心ふれあう病院に～」を基本理念に、日々活動しています。今年度も引き続き第5回となる病院祭を開催します。誰でも参加できますので是非、家族や友人を誘って遊びに来てください。

●とき 令和元年 10月 20日(日) 9:30～13:30

●ところ 那須赤十字病院

●内容 医療機器体験、演奏会、調剤体験

●問い合わせ

那須赤十字病院 総務課 23-1122(代表)

## 本誌へのご意見・ご感想をお聞かせください！

抽選で3名様に「CroKuma 救護服ぬいぐるみ」「CroKuma ナースぬいぐるみ」「赤十字マグカップ」をプレゼントいたします。

以下の項目を明記のうえ、郵送・FAX・メールにてご応募ください。

### ●応募先

郵送 / 〒324-8686 大田原市中田原 1081-4

那須赤十字病院 総務課

プラタなす第27号 プレゼント係

FAX / 0287-23-3004

宛先「総務課 プラタなす第27号 プレゼント係」

メール / nrchp@nasu.jrc.or.jp

件名「プラタなす第27号 プレゼント係」

### ●応募締切り 2019年10月31日(木)

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

## 那須赤十字病院

### 基本理念

マイタウン・マイホスピタル

～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～

### 基本方針

1. 赤十字基本原則に則り、地域のための医療を提供します。
2. 患者さんの立場を尊重し、患者さんに信頼される病院をつくりたい。
3. 日々の研鑽を惜しまず、医療の質の向上に努めます。
4. 保健・医療・福祉施設との連携を密にし、地域医療の発展につくします。

## プラタなす 那須赤十字病院広報誌プラタなす No.27

発行日 2019年10月

発行者 那須赤十字病院 〒324-8686 大田原市中田原1081番地4

TEL 0287-23-1122 FAX 0287-23-3004

URL <http://www.nasu.jrc.or.jp> 印刷 株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷